

恵那あるこまい

NO. 17

2024年秋号

あるこまい・ぐるーぷ
090-1782-9611

「あるこまい16号」(6月10日発行)にて秋の特番ウォーク<秋の養老公園と養老の滝散策>を案内しました。11月20日(参加料4700円、募集人数40名)の受付を9月10日より先着順にて行います。恵那水曜歩こう会の会員は申込書と参加料を一緒に渡してください。会員以外の方は電話にて申し込んでください(参加料は当日支払いです)。申込先:伊藤公子(090-3856-8160)

秋から初冬の恵那を皆で歩こう

メモリアルマーチ2024 オートムフェスティバル同時開催

開催日 11月3日(日曜日 文化の日) 小雨決行
スタート 午前9時~9時30分 恵那市役所前
 (当日受付OK)
出発時間 午前9時30分(昨年より30分繰り下げ)
参加料 中学生以上400円、小学生以下200円
コース 市役所→阿木川ダム→岩村駅まで 13km
 (3~5時間)

メモリアルマーチのウォーキングコースにて恵那市大井ダム完成100周年記念の関連イベントブースを阿木川ダムの堤体の上にて「阿木川オートムフェスティバルin阿木川ダム」を開催いたします。昨年はサマーフェスティバルでした。

メモリアルマーチ 問合せ:090-1782-9611 横山
 オートムフェスティバル 問合せ:0573-25-5295
 (阿木川ダム管理所)



日本の街道歩き100回達成

小林 潔

私は平成20年から日本全国の街道歩きを始め、16年かけて、令和6年4月に100の街道歩きを達成しました。私は現在75歳ですが、49歳の時、大病の解離性大動脈瘤を発症して医師から生存は困難と宣告されました。

しかし幸運にも生き永らえ、健康のためウォーキングを始めました。そして59歳の時、NHKテレビ番組「街道てくてく旅」を見て街道歩きに憧れました。

最初は中山道を東京から京都まで32日間をかけて歩きました。その後、街道歩きの魅力に取りつかれ、全国の街道を歩き、最後の100回目は宇治街道で大願成就しました。その間、ケガ、病気、体調不良などがあり、挫折しそうになりました。また高所恐怖症という短所もあり、山深い峠越えでは獣に遭遇したり道を間違え

たり、悲喜こもごもの旅を経験しました。

長く続けてこられたのは、「恐怖心」より「好奇心」が優ったからです。私の人生にとって大病がきっかけで偉業が成し遂げられたのは幸運と努力の賜物かと少し自負しています。

「人生は筋書きのないドラマ」でした。私の街道歩きのコンセプト「自然とのふれあい、歴史とのふれあい、人との出逢い」が実践でき、人生の有終の美を飾ることができました。

これまでの皆さん方の応援、励ましに感謝いたします。誠にありがとうございました。



明知鉄道利用で毎回恵那駅9時17分発に乗車(予約不要)
 持ち物/昼食、飲み物、雨具 歩きやすい靴と服装で
 参加費は無料

沿線ウォーキング 毎月第4木曜日

10月24日(木)
飯沼駅→根の上高原→JR中津川駅
11月28日(木)
岩村駅→東海自然歩道→極楽駅
12月26日(木)
東野駅→西行遺跡巡り→恵那駅
問合せ:横山 周司
TEL 090-1782-9611

スローウォーキング 毎月第2水曜日

10月9日(水)
飯沼駅→富田農村風景
11月13日(水)
飯沼駅→八幡神社
12月11日(水)
極楽駅→飯沼間城跡
問合せ:横山 周司
TEL 090-1782-9611

秋のウォーキング

NENOWAY WALK
 ネノウェイウォーク 毎月第2木曜日

9時30分
根の上高原ステージ広場集合

10月10日(木)
11月14日(木)
12月12日(木)

参加料 1000円(次回以降500円)
予約不要
弁当、飲み物、長袖シャツ、雨具必携、山道歩行に適した服装・靴

問合せ:河瀬 陽三
TEL 080-5123-2163

ふれんどりーウォーク

毎月第3月曜日

10月21日(月)
11月18日(月)
12月16日(月)

10時 阿木川ダム公園に集合
参加料無料(食事の準備はありません)
予約不要

日々の暮らしをリフレッシュしましょう

問合せ:河瀬 陽三
TEL 080-5123-2163

赤尾さんを偲んで②

登山で出逢いがスタート 島崎香代子

赤尾先生との出逢いは私がまだ50代の時、7月の恵那山、9月の御岳の登山に参加したのが始まりでした。年齢が一緒で、ウォーキングの楽しさを教えてもらいました。先生が大病をしても、いつも元気な姿が忘れられません。ありがとうございました

藪漕ぎこそ醍醐味 藤井よし子

赤尾ウォークの醍醐味は突然分け入る藪漕ぎの道、どきどき、わくわく、とても楽しい！先生、思い出いっぱいありがとうございました。

藪漕ぎを 抜けてひと息 合歓の花

ただ「合掌」 長谷川絃

恵那水曜歩こう会に参加するたびに故赤尾袈夫先生には大変お世話になり有難う御座いました。謹んで哀悼の意を表します。

あなたこそ「千の風」です 山本照夫

2024年チャレンジウォークの2日目のことです。岩や木の根を足掛かり手掛かりで登る紅岩登山がありました。紅岩の直下には見事なシダがあって、そのシダに見とれて休憩所に戻るのが少し遅れてしまいました。そうしたらどうでしょう、「ハッピーバースデー」の歌が聴こえてくるではありませんか。一瞬とまどいましたが、大きな喜びに打たれました。赤尾袈夫演出・21人ウォーカー出演の私の誕生会でした。実は紅岩の上で「今日は私の87歳の誕生日で、どうしても登りたかった」と話したのです。生涯初めての誕生会で、極上の贈り物でした。

赤尾袈夫というお人を想う時「Do not stand at my grave and weep」を口ずさみます。あなたこそ「千の風」となって私たちの周りを、いやずっと大きく飛び越えて地球の上を吹き渡っているお方です。

“I am a thousand winds that blow”と。

南木曾岳でのかくれんぼ 横井富美子

小雨の中、南木曾岳の深き笹に身を隠される赤尾さんに友と二人心配したり笑ったり濡れ乍らも赤尾さんのお人柄のあ



たかさにも感謝しています。黄泉に行きましたら、またご指導の程よろしくお願い致します。ありがとうございました。

ありがとうございます30年のお付き合い 原百合子

水曜歩こう会の仲間に入れていただいて早30年、長い間ご一緒出来た事を幸せに思います。役員への成り手がなくて「会の存続」が困難な時に助言をいただいた事などいい思い出は山ほどあり、これは私の財産です。感謝の気持ちしかありません。

忘れない赤尾イズム 高木美幸

急坂の登り降り、藪漕ぎ、尻餅、泥んこの経験は幼いころ夢中で遊んだ光景と重なります。自然と親しみ、寄り道しながらの行程、草花や歴史について学びました。赤尾イズム満載のウォーキングは自然のなかで人と交流し身体を動かす楽しさを教えて頂きました。これからも自分のペースで続けます。

感謝申し上げます 岩藤妙子

赤尾先生にこの会に「参加してみないか、いいよ!!」と声をかけて下さり、本当にありがとうございました。最後に会った水曜歩こう会（令和6年2月20日）で赤まんまロッジについて語ることが出来たこと嬉しかったです。

歩く教室でした 片山裕子

赤尾先生と出合って2年程ですが、先生の笑顔と冗談交じりの会話、そして明知沿線ウォーキングでの恵那の歴史・草花・木等多数勉強になり感謝です。まだまだ一緒にウォーキングしたかったです。

感謝 磯村鈴枝

先生！ 天空の自然の中でウォーキングされていますか？ 根の上、明知鉄道の参加と自然を愛する大切さを沢山教えて頂き有難うございました。中々覚えられない植物の名を優しく面白く、そして「忘れていいんだよ」の言葉は忘れられません。先生のお心志は横山会長さんを始め受けつがれ、会員の皆さん楽しく参加されています。この会が長く続けられる事どうぞ見守って下さるのをお願いします。

虫も友だちでしたか 隅田美紀

いも虫、毛虫などに全く動じない赤尾先生にもう少しついていってみたいと思っておりますのに残念です。お悔み申し上げます。

腕白な赤い帽子の杖姿

森との距離を教えたりけり

さわやかな「万の風」 河村浩子

100kmウォークも完歩したいと思いつつできてませんが、千の風いや万の風と



なって皆と歩く道をさわやかに吹いていっしょに歩いて下さい。

いつもワクワクを忘れない 早川香代

- ・赤尾さんについていっただけで楽しい何かが待っている。
- ・あたたかく見守ってくれました。
- ・いつも空で私たちを見守ってくれるでしょう。

これからもよろしく 村瀬美晴

新春ウォーキングに小学生だった子供たちと参加したのがきっかけで今日までお世話になっています。これからも暇を作り出して歩いてみて感じていきたいと思っています。今までありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

人生の師匠へ 児玉雅範

私が赤尾さんと初めて会ったのは今から29年前、1995年のチャレンジウォークの時でした。その時からこのイベントには継続して参加しています。私が継続して参加している主な理由は「赤尾さんの人柄に惹かれた」からに他なりません。

これは誰にも話していない事です、私は赤尾さんを「人生の師匠」として尊敬していました。きっと今は生前に同じように天国でもまだ誰も分け入った事のない「赤尾ルート」を探しているのでしょうね。

赤尾さん、今まで本当に有難うございました。そしてお疲れさまでした。

大雪の中を二人で 新井達生

赤尾さんとのつき合いは、1991年正月、今はなき保古の湖ユースホステルに泊まった時からです。なかでも最大の思い出？は2014年2月15日の木曾路ウォークに参加するため根の上に向かったのですが、すごい大雪で自動車も通れず、阿木駅から根の上まで赤尾さんと2人で歩いたことです。積雪1m以上？の中、除雪されていない道を3時間近くかけて歩きました。赤尾さんが「根の上でこんな大雪を見たのは人生初めてだ！」と言っていたくらいです。翌日の本番？の木曾路ウォークもちゃんと完歩しました。